

# 「フェアプレイで秋田を元気に」

## —「あくしゅ・あいさつ・ありがとう」の推進—

### 令和3年度

#### 第24回 秋田県スポーツ少年団競技別大会スキー交流会アルペン競技 兼第20回 湯沢雄勝小学生スキー交流会アルペン競技大会 開催要項

1. 主 催 秋田県・公益財団法人秋田県スポーツ協会 秋田県スポーツ少年団  
湯沢雄勝スキー連絡協議会
2. 後 援 秋田県教育委員会 秋田県スキー連盟 湯沢市 湯沢市教育委員会  
羽後町教育委員会 東成瀬村教育委員会 湯沢市スポーツ協会 秋田魁新報社  
NHK秋田放送局 ABS秋田放送 AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送  
湯沢雄勝小学生スポーツ交流実行委員会
3. 主 管 湯沢雄勝スキー連絡協議会  
チャレンジスポーツクラブいなかわ  
湯沢ジュニアレーシングスポーツ少年団
4. 期 日 令和4年2月5日(土) 6日(日)
5. 会 場 湯沢市 稲川スキー場 (ダウンヒルコース)
6. 交流内容 大回転競技2本制(コース全長・531m 標高差・126m)
7. 日 程

5日	受付	.....	13:00
	選手集合	.....	13:30
	事故防止安全技術研修会	.....	14:00
		(指導 秋田県スキー連盟スタッフ)	
	終了予定	.....	16:00
6日	受付	.....	8:00
	選手集合	.....	9:00
	インスペクション	.....	9:20
	競技開始	.....	10:00
	※表彰は各組終了後、準備が出来次第に実施する。		
	終了予定	.....	14:30
8. 組 別

小学校1年	男・女	小学校4年	男・女	中学校	男・女
小学校2年	男・女	小学校5年	男・女		
小学校3年	男・女	小学校6年	男・女		以上 14組
9. 競技規則
  - ・この要項に定めたこと以外についてはSAJ競技規則最新版による。ただし、本会の申し合わせ事項がある場合には、それを優先させる。
10. 申し合わせ事項
  - ・開会式・閉会式は行わない。
  - ※団代表者会議は行わず、大会受付時に書面で確認する。変更がある場合は放送で通告する。
  - ・本大会は事故防止安全技術研修会に必ず参加するものとする。

## 1 1. 参加資格

- (1) 秋田県スポーツ少年団に登録されている小中学生
- (2) スポーツ傷害保険に加入している者
- (3) 保護者の同意を得た者
- (4) 特例として、秋田県スポーツ少年団に登録していないが(2)(3)の条件を満たしている場合は参加を認めるが、市町村本部長印または支部長印が必要である。

## 1 2. 参加申込

- (1) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、参加料振込後、各団の代表者が申し込むこと。  
A：参加申込書（グループ一覧表）と参加料振込受領書写しの添付  
B：個票 組別チーム内ランキングの記入は必要なし。
- (2) 電話・FAXによる申し込みは受け付けない。

### 【参加料振込先】

#### ●ゆうちょ銀行の窓口・ATMから送金する場合

口座記号：18640

口座番号：19769921

口座名義：秋田県スポ少スキー交流会実行委員会

#### ●ゆうちょ銀行以外の口座（他の金融機関）から送金する場合

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：八六八（ハチロクハチ）

店番：868

預金種別：普通預金

口座番号：1976992

口座名義：秋田県スポ少スキー交流会実行委員会

1 3. 申込先 〒012-0105 秋田県湯沢市川連町字大館中野87-1  
チャレンジスポーツクラブいなかわ内 秋田県スポ少スキー交流会実行委員会 宛  
TEL・FAX 0183-42-5060

1 4. 参加料 2,000円（口座振込のみ）  
※参加料未納の場合は受け付けない。  
※土曜日のみ、リフト代（500円）は個人負担になります。

1 5. 申込締切 令和4年 1月 7日（金） 必着

1 6. 抽 選 令和4年 1月14日（金） 午後6時～（予定）  
ランキングによる抽選は行わない。※抽選は本部で行います※

1 7. 表 彰 各組（県・郡ともに6位まで表彰）

## 1 8. その他

- ・大会参加者及び引率者は2日間の受付にて、全員体調チェック表の提出があります。
- ・やむを得ない事情により競技中止の場合は、参加料は返還しない。
- ・参加者の事故等については応急処置のみとし、それ以外の責任は一切負わない。各自必ず傷害保険に加入すると共に健康保険証を持参すること。
- ・スキーはスキーブレード（ストッパー）付きを使用し、クラッシュヘルメットを着用すること。
- ・服装はスポーツ活動に適したものであること。
- ・リフト乗車は必ずビブを着けること。
- ・コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止の場合もある。

## 【コロナ感染防止対策として】 … 選手・関係者の皆様に守っていただきたい事

※ SAJ 競技会「新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」第1版より

### 1. マスクの着用について

- ① 選手は競技中・ウォーミングアップ・クールダウン時を除いて、常時マスクを装着する。  
(屋外においては防寒・暴風のためのフェイスマスクやネックウォーマー等でも可。待機時間や休憩等屋内で過ごす際にはマスクが望ましい)
- ② ウォーミングアップ後や競技直後、呼吸が落ち着くまでマスクは装着しなくても良いが、荒い呼吸は飛沫が多くなり感染リスクが増大するため、対人距離や咳エチケットに留意すること。
- ③ コーチ、審査員、スタート地点のスタッフ等選手の近くで活動する者は常時マスクを着用すること。マスクを外した選手と会話することで目の粘膜に飛沫が飛ぶ可能性を考慮し、フェイスガードやゴーグル、サングラス等も装着することが望ましい。
- ④ マスクが汚染や水濡れ等で使用できなくなることを考慮し、替えを持参すること。
- ⑤ 使用済のマスクは会場で破棄せず、自身で持ち帰ること。

### 2. 手指消毒について

- ① 更衣室、トイレ、洗面所等各エリアに出入りする前後での手洗い・手指消毒をすること。
- ② 競技用の手袋を装着しながら共用物に触れると予想されるため、手袋を装着したまま顔には触れないよう注意する。(接触感染予防)
- ③ 目・口・鼻の粘膜からの感染リスクがあるため、ゴーグルやフェイスマスク、ヘルメットは清潔に管理し、装着前後で手指消毒を行うこと。
- ④ 競技中・練習中にスキー板やボード、ウェアに飛沫が付着している可能性があるため、着脱前後で手指消毒を行う。特に手袋着脱前後は注意する。
- ⑤ 共用物(ドアの取っ手、自販機のボタン、椅子、テーブル等)に触れる前、触れた後は手指消毒を行う。

### 3. 大会前の健康管理について

大会前2週間において以下のいずれかの事項に該当する場合は出場を見合わせること。

- ・発熱(37.5℃以上)を認める。
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。
- ・だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ・嗅覚や味覚の異常がある。
- ・体が重く感じる、疲れやすい等の症状がある
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
- ・参加14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

### 4. その他大会当日の留意事項について

- ① 大声での会話や指導は避け、常に1～2mの対人距離をとって行動する。
- ② 入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会救護担当者の指示に従う。
- ③ 入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口の大会スタッフに申告する。
- ④ 会場内で体調不良となった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。
- ⑤ 頻回の入退場は控えること。
- ⑥ 使用禁止エリアへの立ち入りはしないこと。(大会前後での消毒範囲や、大会終了後に陽性者が発生した場合の接触部位特定に影響を及ぼすため)

- ⑦ 私物は可能な限り持参した袋に入れて管理すること。(目の届かない間に他者の飛沫がかかったり、自身の飛沫が付着した私物で環境を汚染するリスクを最小限にするため)
- ⑧ 選手は、自分の競技終了後、速やかに退場すること。
- ⑨ 大会終了後、集合しての打ち上げやミーティングは禁止する。
- ⑩ 大会主催者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従うこと。

#### 5. 大会後

大会後2週間以内に体調不良となり「新型コロナウイルス感染症」の疑いが生じた、または発症した場合、速やかに大会事務局まで連絡すること。